



診療・研究内容

脳神経外科では脳腫瘍、脳卒中、頭部外傷、機能的脳神経外科などの領域の疾患を対象とし、主に手術療法で治療しています。脳腫瘍には髄膜腫などの良性腫瘍と神経膠芽腫などの悪性腫瘍があり、良性腫瘍では開頭腫瘍摘出術を行い、悪性腫瘍では手術に加えて放射線治療や化学療法を併用します。脳卒中の中で外科治療の対象となる疾患は、脳動脈瘤破裂によるくも膜下出血、高血圧性脳出血、脳梗塞の原因となる頸動脈狭窄症です。脳動脈瘤破裂の治療法には開頭クリッピング術と血管内治療による動脈瘤コイル塞栓術があり、症例ごとに治療法を選択しています。頸動脈狭窄症の治療法には直達手術の頸動脈血栓内膜剥離術と血管内治療によるステント留置術があります。直達手術を優先しますが、全身麻酔が困難な症例などではステント留置術を行います。頭部外傷の頭蓋内出血は急性硬膜下血腫などの急性出血と慢性硬膜下血腫に分類され、前者では開頭血種除去術を、後者では穿頭血種除去術を行います。機能的脳神経外科の対象となる症状は、三叉神経痛、顔面けいれん、脳卒中後の筋痙縮、パーキンソン病の振戦などです。三叉神経痛と顔面けいれんでは後頭下開頭による微小血管減圧術で治療します。筋痙縮では腹部にポンプを埋め込み、バクロフェンを脊髄腔に投与します。

脳神経外科では診療のみでなく、臨床研究にも力を入れています。新薬の臨床試験では、複数の第2相試験(*)が進行しています。

*経口FXIa阻害薬BMS-986177による虚血性脳卒中の再発抑制効果を検討する国際共同第2相試験

*中枢神経系病変におけるMRI造影剤BAY 1747846単回静脈内投与の多施設共同試験



実績

○手術件数

	件数
脳腫瘍	10
破裂動脈瘤	8
未破裂動脈瘤	0
脳動静脈奇形	0
虚血性疾患	10
脳内出血	2
外傷	11
慢性硬膜下血腫	23
奇形・先天性疾患	0
水頭症	8
脊髄・脊椎	0
微小血管減圧術	1
てんかん	0
定位・機能外科	1
血管内手術	1
定位的放射線治療	0
その他	10
合計	85